

注意報第3号

各関係機関団体の長
各病虫害防除員 } 殿

福岡県病虫害防除所長

平成22年度病虫害発生予察注意報第3号について

イチゴ炭疽病の潜在感染状況を調査した結果、潜在感染株率は本調査を開始して以来、最も高い状況でした。

本年は梅雨期間中の断続的な降雨と、梅雨明け後の高温で、炭疽病の発生に好適な条件が続いており、すでに本病が多発したほ場も見られます。

今後、本病の感染拡大が懸念されますので、防除の徹底を指導願います。

イチゴ

- 1 病虫害名：炭疽病
- 2 発生地域：県下全域
- 3 発生時期：早
- 4 発生量：多
- 5 注意報の根拠
 - (1) 7月2半旬に県下21か所の育苗床の苗から小葉を採取し、エタノール浸漬法による炭疽病の潜在感染株調査を行った結果、

炭疽病潜在感染株率	52.9%	(前年 13.3%、過去4か年平均 18.1%)
潜在感染株確認ほ場率	100%	(前年 71.4%、過去4か年平均 65.8%)

と前年、過去4か年平均より高く、本調査を開始して以来、最も高かった(表)。
 - (2) 7月5半旬に巡回調査を行った結果、

発生株率	0.39%	(前年 0.1%、過去6か年平均 0.3%)
発生ほ場率	18.2%	(前年 9.5%、過去6か年平均 7.3%)

と発生ほ場率は前年、過去6か年平均より高かった。
- 6 防除上注意すべき事項
 - (1) ほ場をこまめに見回り、発病株及びその周辺株は速やかに除去、処分する。
 - (2) 降雨、台風の前夜や摘葉後に薬剤散布を徹底する。なお、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。
 - (3) 急激な肥効は発病を助長するので注意する。
 - (4) 雨よけビニル及び寒冷紗被覆をしているほ場では風通しを良くする。

(5) 低温処理時の注意事項

- ア 夜冷短日や低温暗黒などの処理は、株へのストレスがかかり発病を助長するので、入庫前に生育状況を確認し、健全苗を使用する。
- イ 株冷のコンテナや夜冷庫に苗を詰めすぎないように注意する。
- ウ 株冷入庫前、陽光処理時のかん水は、過度にならないように注意する。

表 エタノール浸漬法によるイチゴ炭疽病の潜在感染状況の調査結果

(単位：％)

調査地点		本年	前年
本所	糸島市	40	15
	福津市	15	10
	久留米市 1	30	25
	久留米市 2	25	5
	筑前町	30	20
	嘉麻市	-	0
	飯塚市	55	5
	福智町	85	25
	筑後支所	八女市 1	15
八女市 2		50	5
筑後市		85	-
大川市		75	0
みやま市		100	0
大木町		55	15
広川町 1		50	0
広川町 2		25	0
行橋支所		岡垣町 1	75
	岡垣町 2	85	20
	行橋市	26.9	15
	豊前市 1	45	10
	豊前市 2	85	25
	みやこ町	60	65
潜在感染株率		52.9	13.3
潜在感染株確認ほ場率		100	71.4

注1 調査地点は、イチゴ育苗期定点調査ほ場21か所
1地点20株、1株当たり2～3枚を採取

注2 検定日：7月12日 調査日：7月26日(28 で2週間静置)